



令和3年第1回妹背牛町議会定例会において、田中町長より新年度の行政執行方針並びに予算案が示されました。将来に向かって町民と共に歩むべき各種施策を抜粋して掲載します。

基本姿勢

全国的に新型コロナウイルス感染症は、いまだ収束をみず、本町におきましても、新型コロナウイルス感染症対策について、国からの地方創生臨時交付金を主な財源として、事業者支援をはじめ、子育て支援、教育環境の整備、農業分野などに独自の対策を講じてきたところですが、今後におきましても町民皆様の安全で安心な暮らしを確保すべく、本感染症対策には万全を期していきます。

さて、国の令和3年度予算につきましても、令和2年度第3次補正予算とともに通常国会に提出され、第3次補正予算については、先般1月28日に可決成立しました。15カ月予算では、人口減少過程での少子化・高齢化対策、温室効果ガス排出での気候変動がもたらす気象災害への防災・減災対策、そしてコロナ禍における感染防止対策と地域経済や住民生活への支援事業などが盛り込まれ、本町におきましてもこれら予算は、町政運営に直接関係するものであり、これまで以上に注視しています。

特に、第3次補正予算においては、地方創生臨時交付金が計上され、本町への交付限度額が感染症対応と地域経済対応を合わせ、約7千500万円となり、新年度において、これまで同様、迅速かつ確実な支援に結びつく事業に活用していきます。また、令和3年度予算におきましては、地方財政対策として、地方交付税の若干の伸びや、「まち・ひと・しごと創生事業費」の確保、さらには、「緊急防災・減災事業費」の拡充と5年間の延長などが盛り込まれており、「妹背牛町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる人口減少対策をはじめとした施策を推進し、かね



妹背牛町長
田中 一典

てより懸案事項でありました
防災行政無線同報系の整備を
はじめ、今後の防災・減災対
策の強化をなお一層図ってい
かなければならないと強く感
じています。

本町の令和3年度一般会計
予算につきましては、令和2
年度からスタートした「第9
次妹背牛町総合振興計画」を
基本とした中で、移住・定住
対策や子育て支援策に重点を
おきつつも、国営農地再編整
備事業の一括償還による地方
債残高の増額など、将来的な
負担も見据えながら、その編
成作業を進めてきました。

全体的には、農業所得の
伸びや地方交付税の増額
を見込んだ中で、総額が
37億7600万円の計上とな
り、財政調整基金を当初から
繰入れなければならないとい
う事態は、辛うじて回避でき
ましたが、新年度におきまし
ても、未だ収束の見通しがた
たない、新型コロナウイルス
感染症への新たな対応も想定
される中、依然厳しい財政運
営を強いられることが予想さ

れます。

このような厳しい財政運営
ではありますが、人口減少対
策として、テレビ・ラジオな
どのメディアを活用しなが
ら、まちの魅力やイベントな
どの開催を積極的に発信して
いくとともに、移住・定住に
係る各種の支援事業をはじめ
、妊娠・出産、子育て世帯、
高齢者などへの支援事業を継
続した中で、予算を重点的に
計上させていただきました。
特に、移住・定住に係る支援
事業については、これを活用
していただくことが成果と成
り得るものであり、これら事
業の一層のPRに努めつつ、
事業の検証と新たな戦略とな
るべく支援策を講じていきま
す。

基幹産業であります農業関
係につきましては、現在、道
営農地整備事業が各地区にお
いて順調に進められ、農業基
盤の整備による作業の効率と
省力化はもとより、品質・収
量の向上が図られ、さらには、
スマート農業の導入を促進さ
せるものであり、農業収益力

向上での経営力強化が益々図
られるものと確信していま
す。

また、新年度予算におい
ては、米穀乾燥調製貯蔵
施設機能増強工事として、
3千300万円を計上し、集
荷作業における検査設備の改
修により、その機能増強を
図っていきます。

商工業については、コロナ
禍が一年以上も続いている
中、外出自粛や休業・時間短
縮営業への協力要請などが長
期にわたり、飲食店や酒屋を
はじめ多くの関連事業者が、
今日まで辛く苦しい日々を
送ってこられました。町とし
ては今後も、感染症対策には
万全を期し、その支援につい
ても財源確保を確実とした中
で、迅速かつ効果的となるよ
うな対策を講じていきます。

商店街の活性化について
も、大変厳しいものが背景に
ありますが、消費者である町
民の減少が、その活性化に大
きく影響してくることから、
町としても移住・定住の促進
からの人口減少対策を確実に

推進していきます。

また、建築、土木などの工
業関連につきましては、厳し
い財政事情ではありますが、
これまで同様に受注機会の拡
大に努めていきます。

最後に、2月中旬より医療
従事者を対象に開始されまし
た新型コロナウイルスワクチ
ンの先行接種であります。私
たち町民への接種は、4月
下旬・5月より希望の高齢者
を対象に開始予定となってお
り、担当部局では、万全な環
境と体制の下での接種実施に
向け、着々と準備を進めてい
ます。これが感染症対策の切
り札となる集団免疫を獲得
し、「アフターコロナ」が現
実となることを、慎重に見定
めたいと考えています。

終わりに、今年が任期4年
の最終年となっております。行
政運営における課題の解決
や、新たな事業の実施など
においては、議会をはじめ、町
民の皆様より特段のご理解と
ご協力、そしてご提案をいた
だきながら推し進めてこられ
ましたことに、心より厚くお

礼と感謝を申し上げます。残
る任期につきましても、精一
杯に町民のための町政執行に
あたっていく決意です。

町議会の皆様、並びに町民
の皆様とともに、着実な明日
への歩みを進めていくことに、
どうか一層のご支援、ご協力
を賜りますようお願い申し上
げます。

農業の振興



全国における米の需給状況
は、コロナ禍による外食需要
の低迷や家庭での米消費量の
減少により、米の在庫量が増
加し、米価下落が懸念されて
おり、農家経営に大きな影響
を及ぼすものと予想されてい
ます。また、今後においても
産地間競争は、ますます厳し
さを増し、一層の差別化が求
められていくものと思えます。

本町がこれまで築いてきた米どころとしての評価をさらに高めるため、安定した生産や品質をさらに向上していくことが重要であると考えます。

良質米の安定生産と米主産地の確立

良質米の安定した生産は、市場評価を高める重要な要素であることから、天候不順による生育への影響が少なく、耐病性・耐倒伏性の向上、不稔発生の軽減に効果があると認められているケイ酸の追肥に対する助成を行い、実証及び普及を進め、農家経営の安定に資するよう努めていきます。

また、米穀乾燥調製貯蔵施設は、色彩選別機増設などの効果で、米品質の均一化が図られ、より高い評価を得ているところですが、その他機器の老朽化が著しく出荷体制に支障を及ぼすことが懸念されています。このため、より安定・安心した集荷作業ができるよう機器制御システムを機能増強していきます。加え

て、水稻作付面積の維持確保に向けた施策を検討し、今後とも、より高品質な米の生産を目指し、さらにブランド力を高め、主食用米の主産地としての地位向上に努めていきます。

農作業省力化の推進と

労働人員確保対策の検討

これまで、RTK—GPS自動操舵システムの普及リーダ事業を展開し、農家の約半数の方が導入し各種作業に使用しており、農作業省力化が図られています。田植え作業においては、労働力不足が解消されておらず労働人員の確保が課題です。このため、新たな移植技術やロボット技術などのさらなる省力化を研究していくとともに、労働人員確保に向けて就農体験事業などについて検討していきます。

活力ある農村づくり及び担い手の育成・確保

現在、農協青年部などによるイベントの開催や各事業への積極的な参画により、まちづくりに貢献していただい

おり、今後とも魅力ある農業、活力ある農村づくりの実現に大いに期待をしております。本年、農協青年部では、識見を広めるため先進地の視察研修を実施する予定であり、経験や知識を積みさらに農業の発展やまちづくりに活かしていただくよう支援をしていきます。また、就農体験事業などを通じて都市との交流や担い手の確保が可能なか、調査・検討していきます。

移住定住の促進



土地購入・新築住宅・中古住宅購入に係る支援事業及び町外からの転入者への引越し助成や民間賃貸住宅入居者への家賃助成を引き続き行っていきます。

また、メディア・SNSな

どを活用して「妹背牛町の魅力」を広く発信し、移住へとつながる施策を積極的に展開していきます。

商工業の振興



資金融資保証料の補給支援、小売店舗等設備支援事業を継続し、定住促進支援事業及び子育て支援事業に係る商工会商品券での支援、住宅等リフォーム助成事業、お買い物おもてなしタクシー助成事業、モスピーカードのポイント贈呈支援、さらには、新規起業（創業）への支援についても継続していきます。

また、新型コロナウイルス感染症による地域経済への影響についても、国や道の動向を注視しながら、状況に応じて必要な施策を検討していきます。

観光の振興



妹背牛温泉ペルについては、昨年度に策定した調査・基本設計に基づき、将来的な維持、運営も見据えた施設・設備の改修等を計画し、健全な経営に努めていきます。

遊水公園うらら及びカーリングホールについては、更なる充実を図り、今後とも交流人口の増加を目指していきます。

また、今年は、日本ハムファイターズより本町の応援大使として2名の選手が就任しました。

今年1年、町内外へ様々な発信をしながら、ともに妹背牛町を盛り上げていただきます。

高齢者福祉、介護サービスの充実



「わかち愛もせうしひろば」を利用した介護予防・総合事業の充実や情報提供など地域の包括的なケアシステムの構築に向けて、生活の場である地域社会での福祉・介護サービスの充実と制度・分野の枠や「支える側」「支えられる側」という関係を超えた重層的支援体制整備を図っていきます。

また、在宅福祉の向上を目指して、昨年度より開始した高齢者などの交通費助成事業を継続するとともに、高齢者世帯などを対象とする水道料金及び灯油などの暖房用燃料費の一部助成とモバイル型緊急通報システムの設置も継続していきます。

児童福祉、子育て支援の充実



本町では、子育て世代包括支援センター（保健センター、保育所内）を中心とした、妊娠から子育て期にわたるまでの切れ目のない包括的な支援の提供を目指しており、深川市立病院とも連携し通所や訪問による産後ケアの充実にも努めていきます。

令和3年度においては、親子の交流や子育て世代と地域との交流の場として、空き家を改築した子育て交流施設を整備し、地域全体で子育てをするしくみを構築していききたいと考えています。

子育て世代の経済的負担の軽減策としては、水道料金の一部助成や高校生までの医療

健康づくり・医療の充実



費無料化、保育料の無償化をはじめ各種事業の一部助成などについても継続していきます。

昨年年度末より準備を進めてきた新型コロナウイルスワクチン接種につきましては、住民の皆様が安心・安全かつ速やかに接種ができるよう、妹背牛診療所などと連携しながら事業を実施していきます。

また、引き続き新型コロナウイルス感染症防止対策の啓発や支援に取り組むとともに、コロナ禍においても、住民が健全な生活を維持できるように、「国民健康保険データヘルス計画」「健康増進計画」「自殺対策行動計画」に基づき、各種保健事業に取り組んでい

地域福祉、心身障がい者福祉の充実



地域医療の中心を担う妹背牛診療所につきましては、医療法人と連携し、医療水準の維持・向上に配慮しながら健全運営に取り組んでいきます。

社会情勢や町民の価値観・生活意識の変化に伴い、福祉に対するニーズが多様化する中、地域福祉の核を担う社会福祉協議会を中心とし、NPO法人、民生委員、町内会など関係機関と連携のもと、全町民が等しく豊かさを享受し、自分らしく生き生きと暮らせる共生型のまちづくりを目指していきます。

また、平成29年度より本町

国民健康保険事業



に就労継続支援事業所の「アグリーン妹背牛」と、相談支援事業所の「ジェミニ」が開設され、本年度は新たに障がい者専用のグループホーム「たいようの杜」も開設されることとなり、相談支援体制も充実し、障がいへの理解と啓発に取り組み、障がい者の方が安心して暮らせるまちづくりを目指すと同時に、地域社会で自立した生活ができるよう、各種福祉サービスの適切な提供と社会参加の促進に努めていきます。

国民健康保険は、地域医療の確保と地域住民の健康の保持・増進に大きく貢献してきました。しかし、低所得者の加入が多い国民健康保険財政

は極めて厳しい状況となっております。

どのような状況下においても、国民健康保険は、国民皆保険制度の基盤として、健全かつ安定的な運営を確保する必要がありますが、その役割を十分に果たしていただけるよう、全力で取り組んでいきます。

なお、令和3年度の国民健康保険料率については、所得や医療費などの確定後に国民健康保険運営協議会でご審議いただき、改めてご提案申し上げます。

介護保険事業



介護保険制度は、地域で安心して老後を迎えるため、社会全体で支えていく仕組みとして、医療保険制度、公的年金制度と並び日本の社会保障制度の一翼を担っています。

本年度は、令和3～5年度までを計画期間とした「第8次介護保険事業計画」がスタートします。住み慣れた妹背牛町で自立した生活を送ることができるよう、高齢者の生きがいづくりや介護予防の充実に取り組んでいきます。

環境衛生



本町では、資源循環型社会の構築を目指し、ゴミの分別・資源化に取り組んでいます。

家庭から排出される一般廃棄物の処理については、1市4町で構成する「北空知衛生センター組合」・4町で構成する「北空知衛生施設組合」・14市町で構成する「中・北空知廃棄物処理広域連合組合」

での効率的な広域処理を継続するとともにゴミの減量化に努めていきます。

環境衛生については、スズメバチなどの巣の駆除助成事業、地区住民のエキノコックス症健康診査の継続実施、不法投棄の防止や春の清掃週間などにより、環境美化の推進に努めていきます。

また、墓地の管理につきましては、妹背牛墓地の外灯設備の改修工事、ヒバの剪定や草刈りなどを実施し、適切な維持管理に努めていきます。

上下水道などの充実



簡易水道事業は、人口減による加入者の減少に伴い、料金収入が減るなど経営に影響を与えていますが、経営の

効率化を図るとともに、本年度より配水池の耐震化に取組み、水道施設の適正な維持管理を継続し、安全・安心な生活水の安定供給に努めていきます。

農業集落排水事業は、安全で快適な下水道サービスを持続的・安定的に供給する為、経営改善に努めるとともに中長期的な更新計画に基づき、適正な時期の更新を行っていきます。個別排水処理施設については、今後も農業用水域の保全に努め、健全な事業運営を行っていきます。

また、上下水道事業は、本年度から3ヶ年計画により、令和6年度の地方公営企業法適用に向け、準備を進めていきます。

住宅施策



現在管理しております町営住宅は、計186戸となっております。

公営住宅等長寿命化計画に基づき、本年度につきましては稲穂団地D棟の建設を予定しています。

今後も入居需要を見極めつつ、計画的な公営住宅の建替えと維持改修を進めていきます。

消防・救急の充実



消防及び救急行政につきましては、火災はもとより近年の自然災害の発生や高齢化の進展に伴う救急ニーズの高まりにより、迅速かつ的確に対応することが求

められています。このような中で、深川消防署における「高機能消防指令システム」の整備に伴い、令和3年2月からは深川市と妹背牛町及び秩父別町の1市2町において119番通報の受付業務が一元化され仮運用がスタートし、4月からは職員の派遣などによる人員配置がなされるなど本格的に指令センター業務が稼働します。併せて、新規に導入した「統合型位置情報通知システム」によって、通報者の位置情報や災害地点を速やかに特定することで、出動時間の短縮、迅速かつ的確な対応が可能となるなど、新たな消防・救急体制が構築され、消防力の充実強化につながるものと考えます。

今後も、関係機関との連携強化を推進するとともに、町民の安全・安心な暮らしを支えるために総合的な対応能力の向上に努めていきます。

防災・治水の充実



近年、全国各地で大規模な自然災害が多発し、防災対策に加えて、被害の最小化を図る減災対策の推進が求められている中、令和2年度において役場庁舎等非常用発電設備の整備、防災行政無線移動系設備のデジタル化など、防災体制の強化を図ってきました。令和3年度においてはさらなる強化を目指し、備蓄庫建設工事に係る実施設計業務や防災行政無線同報系設備の導入に向けた検討を進めるほか、新たな取り組みとして住民参加型の避難所運営訓練の実施や、防災資機材・

備蓄品の計画的な導入など、防災意識の高揚を図っていきます。

一方、治水につきましては、近年の気候変動により、河川の氾濫など予期せぬ災害が発生していることから、水中ポンプの設置稼働など、本町建設業協会及び河川事務所をはじめ関係機関との連携を図りながら、災害の未然防止に万全を期していきます。

交通安全・防犯活動の充実



交通事故防止は、町民一人ひとりが全力を挙げて取り組まなければならない重要な課題であり、町民をはじめ観光客など全ての方が

交通安全協会など関係機関・団体と連携しながら、街頭啓発など交通安全対策に努めていきます。

一方、防犯対策では、特に特殊詐欺において、その手口がより一層、多様化・巧妙化しています。引き続き、警察や防犯協会など関係機関と連携しながら、情報提供や防犯パレードの実施など、町民の防犯意識の高揚を図り、犯罪のない安全で安心して暮らせるまちづくりの実現に努めていきます。

道路、雪対策の充実



町道の整備につきまして、舗装修繕計画に基づき行っておりますが、今後も道路交通網の適正な維持管理と維持補修に努めてまいります。また、橋梁につきましては、予防的な修繕により橋梁の長寿命化を図りつつ、維持管理を適正に進めていきます。

除排雪対策については、生活道路の安全確保や緊急車両の通行確保に努めるなど、今後も効率的な除排雪が実施されるよう業務を遂行してまいります。